

10/ 602889  
6-25-03



Japan Patent Office

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

Date of Application: June 28, 2002

Application Number: Japanese Patent Application  
No.2002-191351

[ST.10/C]: [JP2002-191351]

Applicant(s): RICOH COMPANY, LTD.

May 13, 2003

Commissioner,  
Japan Patent Office

Shinichiro Ota (Seal)

Certificate No.2003-3034394

日 本 国 特 許 庁  
JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office

出 願 年 月 日

Date of Application:

2002年 6月28日

出 願 番 号

Application Number:

特願2002-191351

[ST.10/C]:

[JP2002-191351]

出 願 人

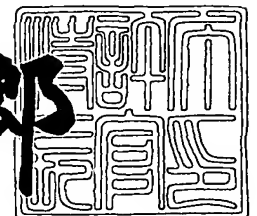
Applicant(s):

株式会社リコー

2003年 5月13日

特 許 庁 長 官  
Commissioner,  
Japan Patent Office

太田信一郎



出証番号 出証特2003-3034394

【書類名】 特許願

【整理番号】 0104403

【提出日】 平成14年 6月28日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 G06F 3/12  
B41J 29/38

【発明の名称】 ソフトウェア導入方法及びその方法をコンピュータに実行させるプログラム

【請求項の数】 4

【発明者】

【住所又は居所】 東京都大田区中馬込1丁目3番6号 株式会社リコー内

【氏名】 小林 寛樹

【特許出願人】

【識別番号】 000006747

【氏名又は名称】 株式会社リコー

【代理人】

【識別番号】 100104190

【弁理士】

【氏名又は名称】 酒井 昭徳

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 041759

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9810808

【ブルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 ソフトウェア導入方法及びその方法をコンピュータに実行させるプログラム

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 コンピュータ装置と印字装置がネットワークを介して接続され、前記コンピュータ装置上で前記印字装置を使用するに必要なソフトウェアの導入及び印刷設定等を行うためのソフトウェア導入方法であって、

予め定められた導入情報記述ファイルに記述されている、前記印字装置に印刷データを転送するためのデバイスドライバと、所望する印刷設定と、前記ネットワーク上におけるデータ出力先設定とを読み込ませる読み込み工程と、

前記読み込み工程で読み込んだ設定内容に基づき対応するソフトウェア導入及び設定処理を実行させる導入工程と、

を含むことを特徴とするソフトウェア導入方法。

【請求項 2】 複数台のコンピュータ装置それぞれのホスト名毎に、導入するデバイスドライバと、所望する印刷設定と、前記ネットワーク上におけるデータ出力先設定とが対応付けて設定されているデータベースを参照し、前記ホスト名のコンピュータ装置に必要な設定内容を取得するデータベースアクセス工程と

前記データベースアクセス工程で取得した設定内容に基づき該当するホスト名のコンピュータ装置に対応した導入情報記述ファイルを作成するファイル作成工程と、

を含むことを特徴とする請求項 1 に記載のソフトウェア導入方法。

【請求項 3】 複数台のコンピュータ装置それぞれのログイン名毎に、導入するデバイスドライバと、所望する印刷設定と、前記ネットワーク上におけるデータ出力先設定とが対応付けて設定されているデータベースを参照し、前記ログイン名のコンピュータ装置に必要な設定内容を取得するデータベースアクセス工程と、

前記データベースアクセス工程で取得した設定内容に基づき該当するログイン名のコンピュータ装置に対応した導入情報記述ファイルを作成するファイル作成

工程と、

を含むことを特徴とする請求項 1 に記載のソフトウェア導入方法。

【請求項 4】 前記請求項 1 ～ 3 のいずれか一つに記載された方法をコンピュータに実行させるプログラム。

【発明の詳細な説明】

【 0 0 0 1 】

【発明の属する技術分野】

この発明は、ネットワークを用いた印刷システムに適用され、より詳しくは、ユーザのホスト上で印字装置を使用したい場合に、簡単に印刷環境を構築できるソフトウェア導入方法、及びその方法をコンピュータに実行させるプログラムに関する。

【 0 0 0 2 】

【従来の技術】

近年、ホスト装置、印字装置、記憶装置、読み取り装置などを LAN 等のネットワークで接続し、複数のユーザ（クライアント端末）でこれらの装置を共有することができるようになってきている。このようなネットワーク環境での印刷を実現するにあたりホスト装置には、オペレーティングシステム（OS）で動作する印字装置を制御して印刷データを作成するためのプリンタドライバと、ネットワークを介してホスト装置から印字装置にデータ転送するためのデータ転送ソフトウェアが必要となる。

【 0 0 0 3 】

通常、これらのソフトウェア（上記プリンタドライバ及びデータ転送ソフトウェア）は、印字装置に同梱された CD-ROM や FD で配布される場合が多い。特開平 1 1 - 1 3 4 1 3 5 号公報に開示された技術は、印刷に必要なソフトウェア（プリンタドライバ）を、印刷実行時にネットワークを介して接続された印字装置からダウンロードして導入することが可能な導入システムである。

【 0 0 0 4 】

【発明が解決しようとする課題】

しかし、上述のようにネットワーク環境で使用される印字装置が多数のユーザ

によって共有する場合には、個々のクライアント端末にそれぞれソフトウェアを導入する作業が必要となった。これに加えて、ソフトウェア導入後の設定が必要となるため、導入及び設定にコストがかかるという問題があった。

【0005】

また、全てのユーザがソフトウェアの設定に習熟しているとは限らないため、専門のネットワーク管理者が各クライアント端末を設定して回る等、管理者の作業負担が増加するという問題があった。

【0006】

本発明は上記欠点に鑑みてなされたもので、ネットワーク印刷でホストが印字装置を使用するに必要なデバイスドライバの導入、印刷設定等の印刷環境を簡単に構築できるソフトウェア導入方法及びその方法をコンピュータに実行させるプログラムを提供することを目的とする。

【0007】

【課題を解決するための手段】

上述した課題を解決し、目的を達成するため、請求項1の発明に係るソフトウェア導入方法は、コンピュータ装置と印字装置がネットワークを介して接続され、前記コンピュータ装置上で前記印字装置を使用するに必要なソフトウェアの導入及び印刷設定等を行うためのソフトウェア導入方法であって、予め定められた導入情報記述ファイルに記述されている、前記印字装置に印刷データを転送するためのデバイスドライバと、所望する印刷設定と、前記ネットワーク上におけるデータ出力先設定とを読み込ませる読み込み工程と、前記読み込み工程で読み込んだ設定内容に基づき対応するソフトウェア導入及び設定処理を実行させる導入工程とを含むことを特徴とする。

【0008】

この請求項1の発明によれば、所望の印刷設定、データ出力先設定が予め記述された導入情報記述ファイルを読み込むことにより、ユーザに操作させることなく所望の設定を再現することが可能になり、導入に必要な操作に習熟していないユーザであってもソフトウェア導入を簡単に行うことができるようになる。

【0009】

また、請求項 2 の発明に係るソフトウェア導入方法は、請求項 1 に記載の発明において、複数台のコンピュータ装置それぞれのホスト名毎に、導入するデバイスドライバと、所望する印刷設定と、前記ネットワーク上におけるデータ出力先設定とが対応付けて設定されているデータベースを参照し、前記ホスト名のコンピュータ装置に必要な設定内容を取得するデータベースアクセス工程と、前記データベースアクセス工程で取得した設定内容に基づき該当するホスト名のコンピュータ装置に対応した導入情報記述ファイルを作成するファイル作成工程とを含むことを特徴とする。

## 【 0 0 1 0 】

この請求項 2 の発明によれば、データベースを参照してホスト名毎の印刷設定を簡単に得ることができ、ホスト名のコンピュータ装置に必要なソフトウェア導入を簡単に行えるようになる。また、複数のコンピュータ装置に対する設定がデータベースに格納されており、各コンピュータ装置はいずれもデータベースにアクセスするだけでソフトウェア導入及び設定が容易に行えるため、多数のコンピュータ装置に対するソフトウェア配布及び導入設定に係るコストを削減できるようになる。

## 【 0 0 1 1 】

また、請求項 3 の発明に係るソフトウェア導入方法は、請求項 1 に記載の発明において、複数台のコンピュータ装置それぞれのログイン名毎に、導入するデバイスドライバと、所望する印刷設定と、前記ネットワーク上におけるデータ出力先設定とが対応付けて設定されているデータベースを参照し、前記ログイン名のコンピュータ装置に必要な設定内容を取得するデータベースアクセス工程と、前記データベースアクセス工程で取得した設定内容に基づき該当するログイン名のコンピュータ装置に対応した導入情報記述ファイルを作成するファイル作成工程とを含むことを特徴とする。

## 【 0 0 1 2 】

この請求項 3 の発明によれば、データベースを参照してログイン名毎の印刷設定を簡単に得ることができ、ログイン名のコンピュータ装置に必要なソフトウェア導入を簡単に行えるようになる。また、複数のコンピュータ装置に対する設定

がデータベースに格納されており、各コンピュータ装置はいずれもデータベースにアクセスするだけでソフトウェア導入及び設定が容易に行えるため、多数のコンピュータ装置に対するソフトウェア配布及び導入設定に係るコストを削減できるようになる。

## 【0013】

また、請求項4の発明に係るプログラムは、前記請求項1～3のいずれか一つに記載された方法をコンピュータに実行させることを特徴とする。

## 【0014】

## 【発明の実施の形態】

以下に添付図面を参照して、この発明に係るソフトウェア導入方法及びその方法をコンピュータに実行させるプログラムの好適な実施の形態を詳細に説明する。図1は、この発明の本実施の形態に係るソフトウェア導入方法が適用されるネットワーク構成を示す図である。

## 【0015】

ネットワーク101には、ホスト装置102（102a，102b）、サーバ装置103、印字装置104（104a，104b）が接続されている。ホスト装置102からネットワーク接続された印字装置104への印刷は、以下の流れで行われる。ホスト装置102上で動作するアプリケーションプログラムにより印刷命令が発行されると、印刷先の印字装置104に最適なデバイスドライバにより、印字データが作成される。印刷データが作成されると、データ転送ソフトウェアにより、指定のアドレスを持つ印字装置104に対して印字データが転送され、この印字装置104から印字結果が出力される。

## 【0016】

## （実施の形態1）

次に、この発明の実施の形態1による処理内容を説明する。図2は、この発明の実施の形態1による処理手順を示すフローチャートである。ホスト装置102（102a，102b）には、それぞれ予め導入プログラムが格納されており、ホスト装置102のプロセッサがこの導入プログラムを実行処理することにより、以下のソフトウェア導入処理を実行する。



## 【0017】

導入プログラムは、起動時に予め管理者などによって記述された導入情報記述ファイルが与えられると（ステップS201：Yes）、この導入情報記述ファイルの内容を読み込む。導入情報記述ファイルの与え方としては、導入プログラムの起動引数として指定するなどの方法が考えられる。

## 【0018】

導入情報記述ファイルには、ホスト装置102に導入すべきデバイスドライバやアプリケーション（プログラム）名、また個々のアプリケーションの設定などが記述されている。例えば、特定の印字装置104（104a，104b）のデバイスドライバを導入し、そのデバイスドライバ設定として「両面印刷を行う」などが記述される。また、ホスト装置102のオペレーティングシステム（例えばWindows（R））で用いられるポートモニタを導入し、そのポート設定として「出力IPアドレスの指定」などが記述される。

## 【0019】

導入プログラムは、上記導入情報記述ファイルを読み込み（ステップS202）、データを参照しながらその記述に従ってソフトウェア（上記デバイスドライバやアプリケーション等のプログラム）の導入及び設定を実行する（ステップS203）。

## 【0020】

ある一つのソフトウェアの導入が完了する毎に、導入完了か判断し（ステップS204）、他の導入が必要な場合には（ステップS204：No）、次に記述されているソフトウェアの導入処理へ移る（ステップS203に復帰）。そして、全てのソフトウェアの導入が完了すると（ステップS204：Yes）、導入処理を終了する。

## 【0021】

導入プログラムは、導入情報記述ファイルが与えられなくても導入プログラム自身が上記ソフトウェアの導入を実行することもできる。この場合、一般的に各アプリケーション毎に独自の導入プログラムを用意している場合が多いので、導入プログラムと各アプリケーションとの間に処理を連携させる所定のインターフ

エースを設け、各アプリケーション別に設けられる導入プログラムに対して導入命令を出す処理形態としてもよい。

#### 【0022】

ステップS201にて導入情報記述ファイルが与えられない場合には（ステップS201：No）、予め導入プログラムに内部保有する初期値を参照しながらソフトウェアの導入及び設定を実行し（ステップS205）、この後、導入完了か判断し（ステップS206）、他の導入が必要な場合には（ステップS206：No）、次のソフトウェアの導入処理へ移る（ステップS205に復帰）。そして、全てのソフトウェアの導入が完了すると（ステップS206：Yes）、導入処理を終了する。

#### 【0023】

図3は、実施の形態1における導入情報記述ファイルの記述例を示す図表である。図示されている記述順は以下の1)～4)であり、この流れでソフトウェアの導入が進行する。

- 1) RICOH Port Monitorのインストール
- 2) RICOH Printer Driver Aのインストール
- 3) 127.1.1.1のIPアドレスに出力するプリンタポートの作成
- 4) 上記2)で導入したプリンタドライバと、上記3)で作成したポートを関連付けてプリンタオブジェクトを作成

#### 【0024】

##### （実施の形態2）

次に、この発明の実施の形態2による処理内容を説明する。図4は、この発明の実施の形態2による処理手順を示すフローチャートである。導入プログラムが起動されると、設定取得プログラムは起動されたホスト装置102のホスト名を取得し、設定取得プログラムの内部に保有しておく（ステップS401）。

#### 【0025】

図5は、実施の形態2における導入情報記述ファイルの記述例を示す図表である。図示のように、記述順は実施の形態1と同様であり、この流れでソフトウェアの導入が進行するが、データベースを参照する記述が加えられている点が異なる。

る。そして、起動引数などで指定された導入情報記述ファイル（図5参照）を一行読み込み（ステップS402）、ホスト装置102ごとに変換されるべきデータを検索する（ステップS403）。変換されるべきデータは、環境変数のような形で記述しておくことができる。例えば、\$PORT\_ADDRESS\$などである。

#### 【0026】

ホスト固有データを発見すると（ステップS403：Yes）、管理者によって与えられたデータベースを参照し、ホスト名に割り当てられた印刷設定情報を取得する（ステップS404）。データベースは、例えばサーバ装置103に格納されており、ホスト装置102からサーバ装置103のデータベースにアクセスする構成が考えられる。導入情報記述ファイルの行に変換すべきデータがない場合には（ステップS403：No）、ステップS406に移行する。

#### 【0027】

データベースの中には、ホスト名と、ホスト名に関連付けられた導入条件の関連テーブルが記述されている。例えば、出力すべき印字装置104のIPアドレスの関連等である。設定取得プログラムは、データベースに問合せを行うことによって導入したいホスト装置102とその導入条件を検出し、ホスト装置102ごとの導入に必要な設定を取得する。

#### 【0028】

図6は、実施の形態2におけるデータベースの内容を示す図表である。図示のようにホスト名と可変データの関連がデータベース化されている。この例では、ホスト名が「soumu1」については、導入デバイスドライバ（プリンタドライバ：\$PRINTER\_DRIVER\$）の変数は、「Printer A」であり、出力IPアドレス（\$PORT\_ADDRESS\$）は、「127.0.0.1」に変換される。

#### 【0029】

データベースの種類としては、市販のSQLサーバや、CSVファイルなどによるテーブルを利用するなど、ユーザ環境の規模やインフラストラクチャに応じて決定することができる。設定取得プログラムは、データベースより情報を取得

した後は、導入情報記述ファイル中の変換データ部分を書き換える（ステップ S 4 0 5）。以上の処理を導入情報記述ファイルの全ての行に対して実行したか判断し（ステップ S 4 0 6）、未処理の行があれば（ステップ S 4 0 6 : N o）、ステップ S 4 0 2 に復帰して上記同様の処理を行い、導入情報記述ファイルの全ての行に対する実行が終了すれば（ステップ S 4 0 6 : Y e s）、ホスト固有の情報記述ファイルを作成する。この後、導入プログラムは、実施の形態 1 で説明した手順（図 2 参照）により、導入情報記述ファイルの記述を参照してホスト毎の導入を実行する。

### 【 0 0 3 0 】

（実施の形態 3）

図 7 は、この発明の実施の形態 3 による処理手順を示すフローチャートである。実施の形態 2 ではホスト名を取得する構成としたが、実施の形態 3 ではこれに代えてログイン名を取得する点が異なる。

### 【 0 0 3 1 】

導入プログラムが起動されると、設定取得プログラムは起動されたホスト装置 1 0 2 のログイン名を取得し、導入プログラムの内部に保有しておく（ステップ S 7 0 1）。

### 【 0 0 3 2 】

そして、起動引数などで指定された導入情報記述ファイル（図 5 参照）を一行読み込み（ステップ S 7 0 2）、ログイン名ごとに変換されるべきデータを検索する（ステップ S 7 0 3）。ログイン固有データを発見すると（ステップ S 7 0 3 : Y e s）、管理者によって与えられたデータベースを参照し、ログイン名に割り当てられた印刷設定情報を取得する（ステップ S 7 0 4）。導入情報記述ファイルの行に変換すべきデータがない場合には（ステップ S 7 0 3 : N o）、ステップ S 7 0 6 に移行する。

### 【 0 0 3 3 】

データベースの中には、ログイン名と、ログイン名に関連付けられた導入条件の関連テーブルが記述されている。そして、データベースから情報を取得した後は、導入情報記述ファイル中の変換データ部分を書き換える（ステップ S 7 0 5）。

）。以上の処理を導入情報記述ファイルの全ての行に対して実行し（ステップ S706）、未処理の行があれば（ステップ S706：No）、ステップ S702 に復帰して上記同様の処理を行い、導入情報記述ファイルの全ての行に対する実行が終了すれば（ステップ S706：Yes）、ホスト固有の導入情報記述ファイルを作成することができる。

#### 【0034】

図8は、実施の形態3におけるデータベースの内容を示す図表である。図示のようにログイン名と可変データの関連がデータベース化されている。この例では、ログイン名が「sato h」については、導入デバイスドライバ（プリンタドライバ：\$PRINTER\_DRIVER\$）の変数は、「Printer A」であり、出力IPアドレス（\$PORT\_ADDRESS\$）は、「127.0.0.1」に変換される。この後、導入プログラムは、導入情報記述ファイルの記述を参照してホスト毎の導入を実行する。

#### 【0035】

##### （実施の形態4）

図9は、この発明の実施の形態4による処理手順を示すフローチャートである。この実施の形態4では、ホスト装置102が起動されると、まず、設定取得プログラムを起動し（ステップ S901）、実施の形態2あるいは3で説明した処理を実行させる。ここで、ホスト名（実施の形態2）あるいはログイン名（実施の形態3）のいずれかを検出し、検出に応じた処理を選択する構成が考えられる。

#### 【0036】

この後、導入情報記述ファイルに記載された変換データを解析し、データベース参照して（ステップ S902）、ホスト名あるいはログイン名に割り当てられた印刷設定情報を取得し（ステップ S903）、導入情報記述ファイルをホスト名あるいはログイン名に特化したデータへと変換し書き換える（ステップ S904、処理手順は図4あるいは図7参照）。

#### 【0037】

設定取得プログラムの実行により、全てのホスト依存データを変換終了した後

、導入プログラムを実行する（ステップS905）。導入プログラム（処理手順は図2参照）は、導入情報記述ファイルを参照しながら、ソフトウェアの導入を実行する（ステップS906）。これにより、導入プログラムは、個々のホスト装置102（ホスト名あるいはログイン名）に対応したソフトウェア導入を、複数のクライアントに対して実行できるようになる。

#### 【0038】

なお、本実施の形態で説明したソフトウェア導入に係る導入プログラム及び設定取得プログラムは、ハードディスク、フレキシブルディスク、CD-ROM、MO、DVD等のコンピュータで読み取り可能な記録媒体に記録され、コンピュータによって記録媒体から読み出されることによって実行される。またこのプログラムは、インターネット等のネットワークを介して配布することが可能な伝送媒体であってもよい。

#### 【0039】

##### 【発明の効果】

以上説明したように、請求項1に記載の発明によれば、コンピュータ装置と印字装置がネットワークを介して接続され、前記コンピュータ装置上で前記印字装置を使用するに必要なソフトウェアの導入及び印刷設定等を行うためのソフトウェア導入方法であって、予め定められた導入情報記述ファイルに記述されている、前記印字装置に印刷データを転送するためのデバイスドライバと、所望する印刷設定と、前記ネットワーク上におけるデータ出力先設定とを読み込ませる読み込み工程と、前記読み込み工程で読み込んだ設定内容に基づき対応するソフトウェア導入及び設定処理を実行させる導入工程とを含むので、所望の印刷設定、データ出力先設定が予め記述された導入情報記述ファイルを読み込むことにより、ユーザに操作させることなく所望の設定を再現することが可能になり、導入に必要な操作に習熟していないユーザであってもソフトウェア導入を簡単に行うことができるという効果を奏する。

#### 【0040】

また、請求項2に記載の発明によれば、請求項1に記載の発明において、複数台のコンピュータ装置それぞれのホスト名毎に、導入するデバイスドライバと、

所望する印刷設定と、前記ネットワーク上におけるデータ出力先設定とが対応付けて設定されているデータベースを参照し、前記ホスト名のコンピュータ装置に必要な設定内容を取得するデータベースアクセス工程と、前記データベースアクセス工程で取得した設定内容に基づき該当するホスト名のコンピュータ装置に対応した導入情報記述ファイルを作成するファイル作成工程とを含むので、データベースを参照してホスト名毎の印刷設定を簡単に得ることができ、ホスト名のコンピュータ装置に必要なソフトウェア導入を簡単に行えるようになる。また、複数のコンピュータ装置に対する設定がデータベースに格納されており、各コンピュータ装置はいずれもデータベースにアクセスするだけでソフトウェア導入及び設定が容易に行えるため、多数のコンピュータ装置に対するソフトウェア配布及び導入設定に係るコストを削減できるという効果を奏する。

## 【 0 0 4 1 】

また、請求項 3 に記載の発明によれば、請求項 1 に記載の発明において、複数台のコンピュータ装置それぞれのログイン名毎に、導入するデバイスドライバと、所望する印刷設定と、前記ネットワーク上におけるデータ出力先設定とが対応付けて設定されているデータベースを参照し、前記ログイン名のコンピュータ装置に必要な設定内容を取得するデータベースアクセス工程と、前記データベースアクセス工程で取得した設定内容に基づき該当するログイン名のコンピュータ装置に対応した導入情報記述ファイルを作成するファイル作成工程とを含むことを特徴とする。

## 【 0 0 4 2 】

この請求項 3 の発明によれば、データベースを参照してログイン名毎の印刷設定を簡単に得ることができ、ログイン名のコンピュータ装置に必要なソフトウェア導入を簡単に行えるようになる。また、複数のコンピュータ装置に対する設定がデータベースに格納されており、各コンピュータ装置はいずれもデータベースにアクセスするだけでソフトウェア導入及び設定が容易に行えるため、多数のコンピュータ装置に対するソフトウェア配布及び導入設定に係るコストを削減できるという効果を奏する。

## 【 0 0 4 3 】

また、請求項 4 に記載の発明によれば、前記請求項 1 ～ 3 のいずれか一つに記載された方法をコンピュータに実行させることによって、請求項 1 ～ 3 のいずれか一つの動作をコンピュータによって実現することが可能なプログラムが得られるという効果を奏する。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

この発明の本実施の形態に係るソフトウェア導入方法が適用されるネットワーク構成を示す図である。

【図 2】

この発明の実施の形態 1 による処理手順を示すフローチャートである。

【図 3】

実施の形態 1 における導入情報記述ファイルの記述例を示す図表である。

【図 4】

この発明の実施の形態 2 による処理手順を示すフローチャートである。

【図 5】

実施の形態 2 における導入情報記述ファイルの記述例を示す図表である。

【図 6】

実施の形態 2 におけるデータベースの内容を示す図表である。

【図 7】

この発明の実施の形態 3 による処理手順を示すフローチャートである。

【図 8】

実施の形態 3 におけるデータベースの内容を示す図表である。

【図 9】

この発明の実施の形態 4 による処理手順を示すフローチャートである。

【符号の説明】

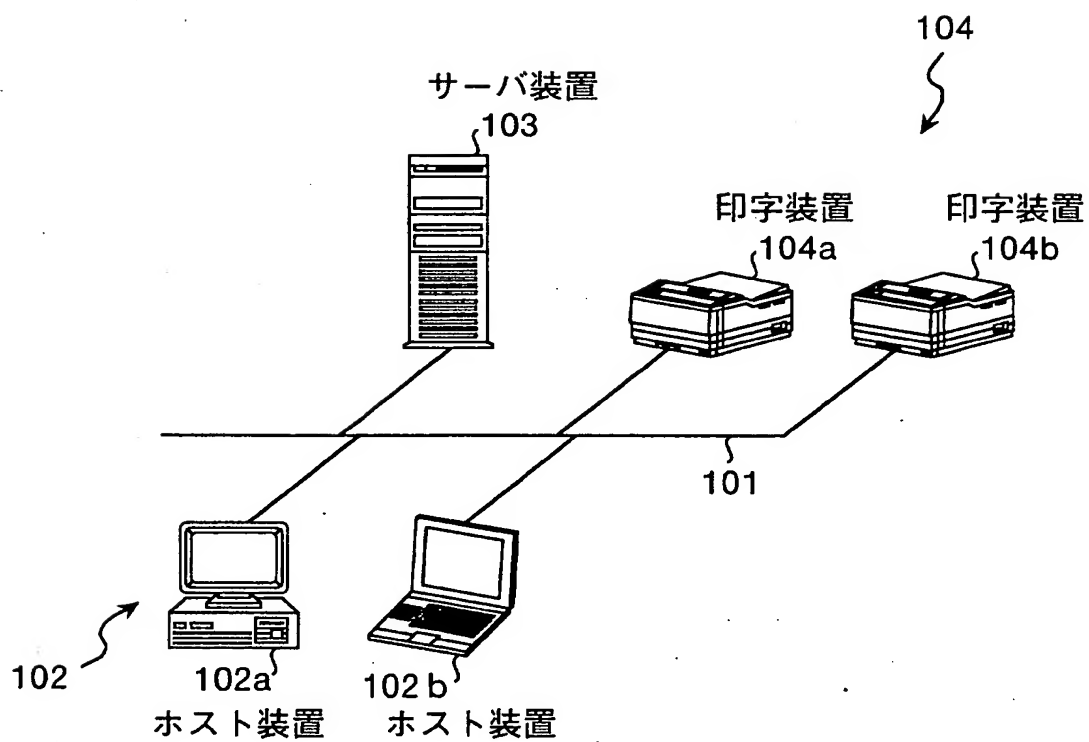
- 1 0 1    ネットワーク
- 1 0 2 ( 1 0 2 a , 1 0 2 b )    ホスト装置
- 1 0 3    サーバ装置
- 1 0 4 ( 1 0 4 a , 1 0 4 b )    印字装置



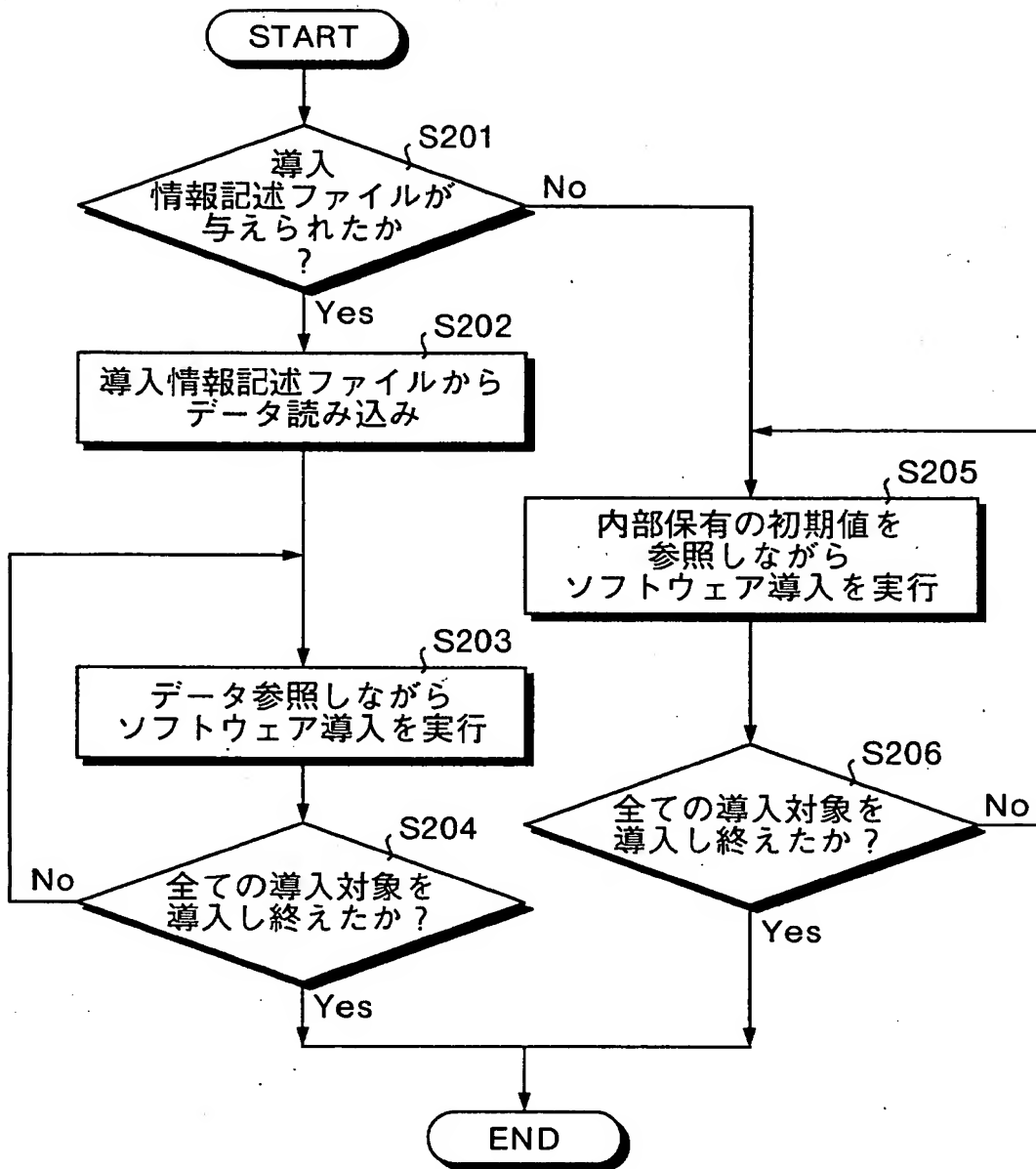
【書類名】

図面

【図 1】



【図 2】



【図 3】

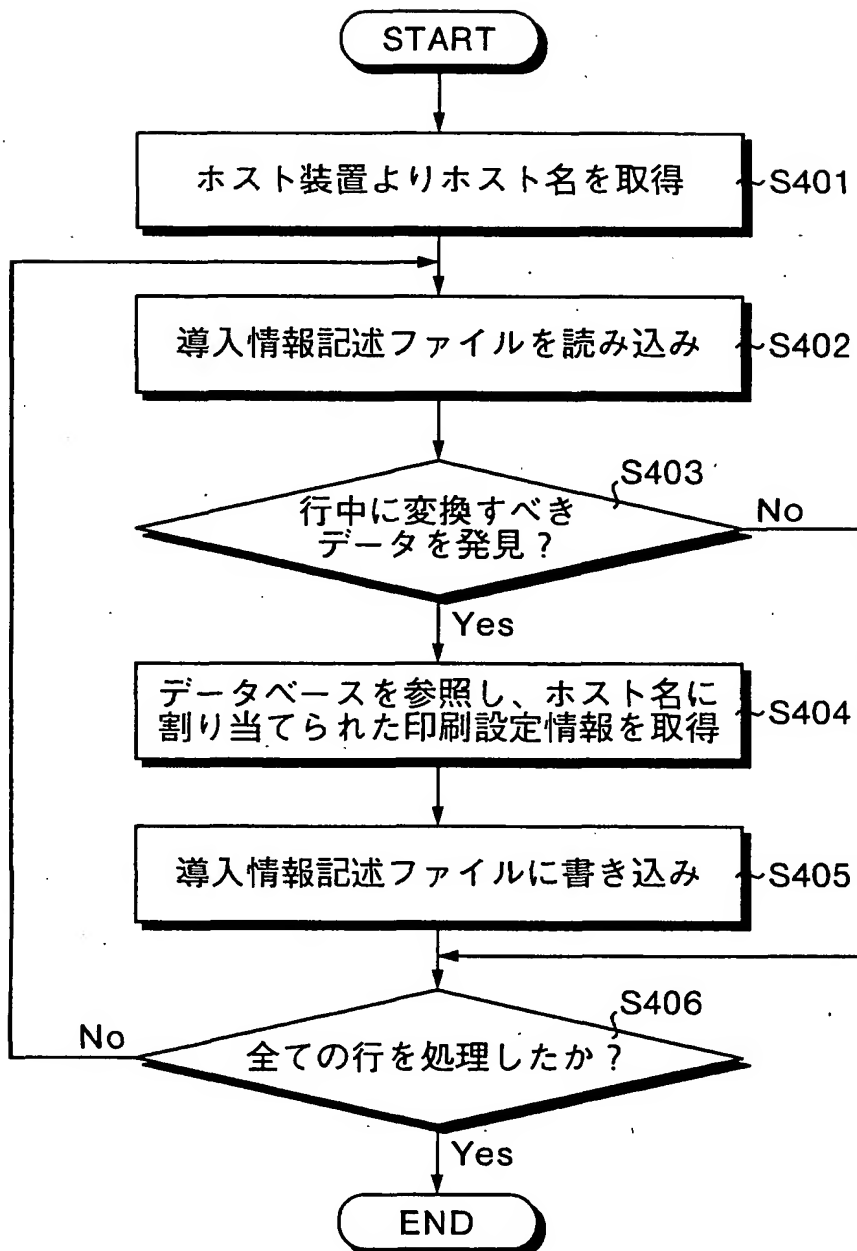
```
[Install. RICOH Port Monitor]
ComponentName= RICOH Port Monitor
ComponentKind=Application
Setup=..¥NETWORK¥RIDOCIO¥NAVI¥DISK1¥SETUP.EXE

[Install.RICOH Printer Driver A]
ComponentName= RICOH Printer Driver A
Setup=..¥DRIVERS¥DriverInst.EXE

[Port.127.1.1.1]
Monitor= RICOH Port Monitor
PortName=127.1.1.1
PortAddress=127.1.1.1

[PrinterObject. RICOH Printer Driver A]
PrinterName=
DriverName= RICOH Printer Driver A
Comment=
SetDefault=ON
PortSectionName=Port. 127.1.1.1
InitializeFile=
Shared=OFF
Duplex=ON
```

【図 4】



【図 5】

```
[Install.RICOH Port Monitor]
ComponentName= RICOH Port Monitor
ComponentKind=Application
Setup=..¥NETWORK¥RIDOCIO¥NAVI¥DISK1¥SETUP.EXE

[Install. Printer Driver]
ComponentName=$PRINTER_DRIVER$
Setup=..¥DRIVERS¥DriverInst.EXE

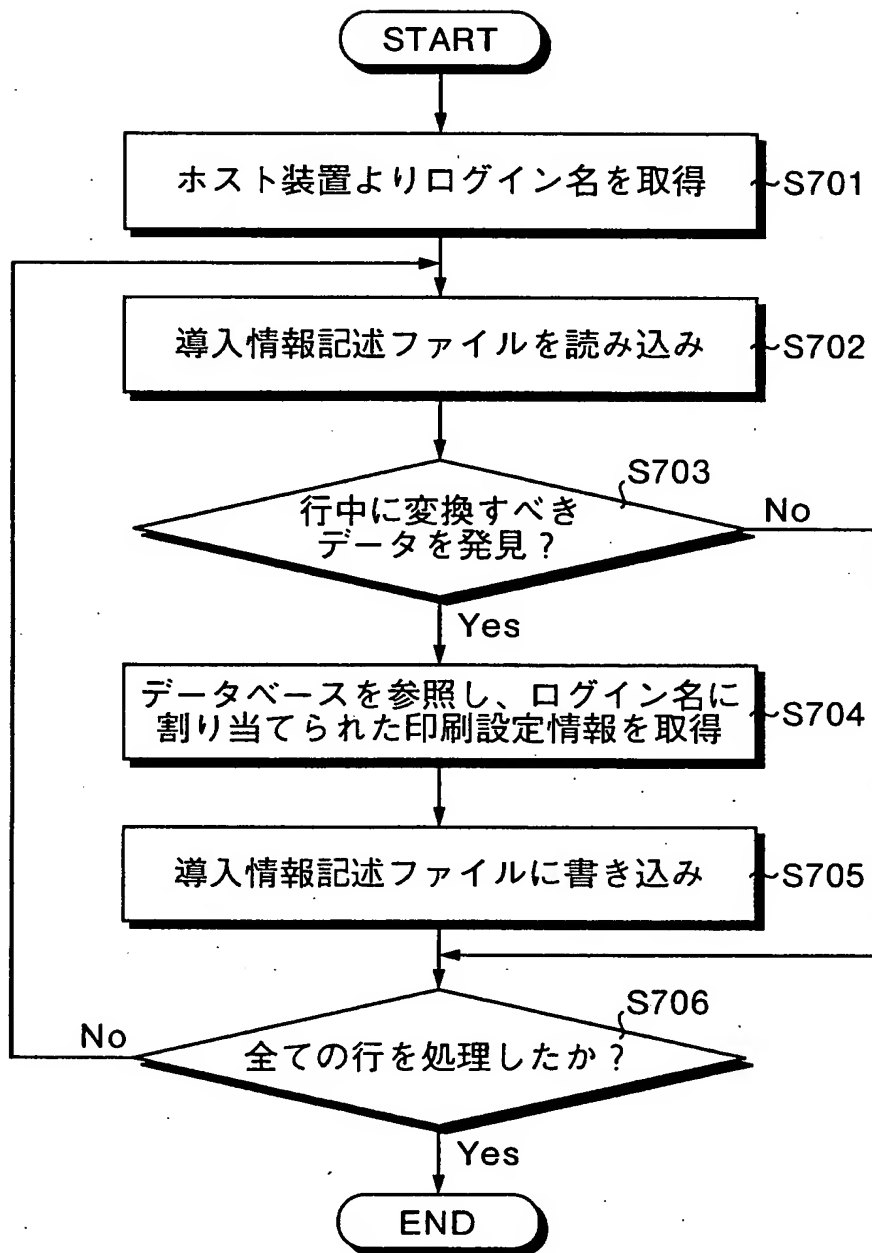
[Port.PORT]
Monitor= RICOH Port Monitor
PortName=$PORT_ADDRESS$
PortAddress=$PORT_ADDRESS$

[PrinterObject. RICOH Printer Driver A]
PrinterName=
DriverName=RICOH Printer Driver A
Comment=
SetDefault=ON
PortSectionName=Port. PORT
InitializeFile=
Shared=OFF
Duplex=$DUPLEX$
```

【図6】

ホスト名	導入デバイスドライバ	出力IPアドレス	両面設定
	\$PRINTER_DRIVER\$	\$PORT_ADDRESS\$	\$DUPLEX\$
soumu1	Printer A	127.0.0.1	する
soumu2	Printer A	127.0.0.1	する
eigyo1	Printer B	127.0.0.2	しない
eigyo2	Printer B	127.0.0.2	しない
eigyo13	Printer B	127.0.0.3	しない

【図 7】

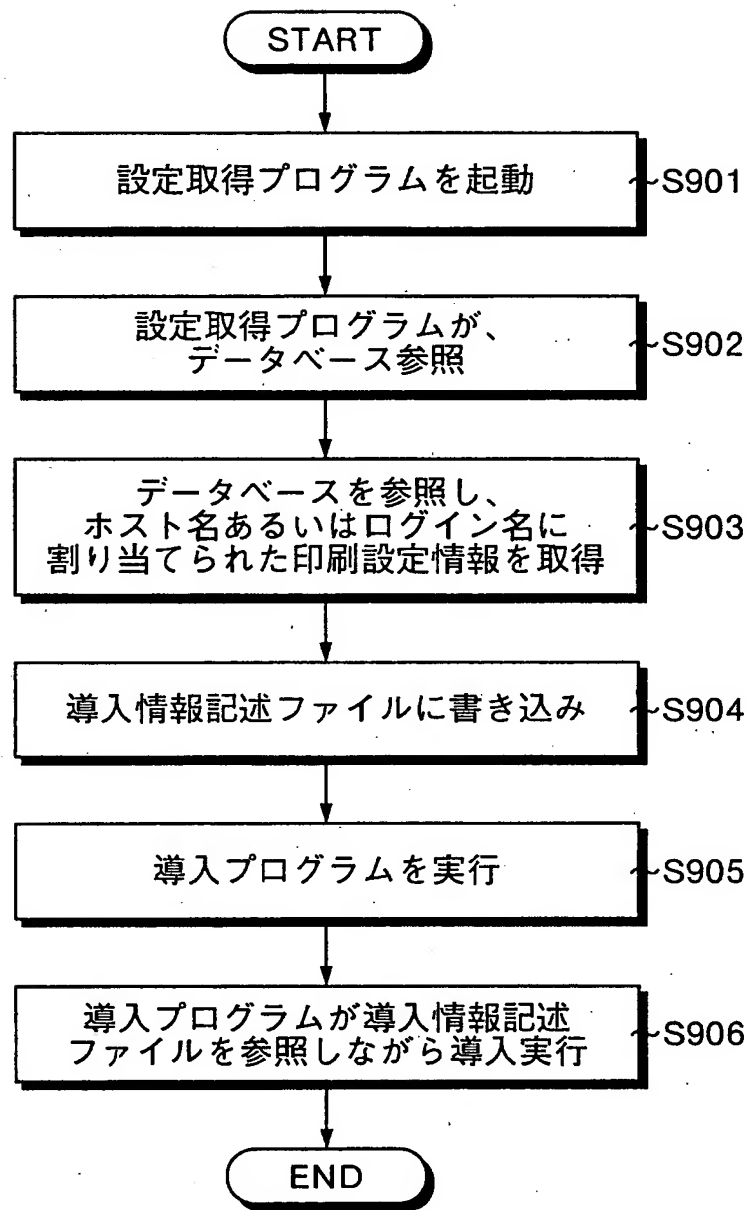


【図8】

ログイン名	導入デバイスドライバ	出力IPアドレス	カラー設定
	\$PRINTER_DRIVER\$	\$PORT_ADDRESS\$	\$DUPLEX\$
satoh	Printer A	127.0.0.1	する
suzuki	Printer A	127.0.0.1	する
tanaka	Printer B	127.0.0.2	しない
kobayashi	Printer B	127.0.0.2	しない
takahashi	Printer B	127.0.0.3	しない



【図9】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 ネットワーク印刷でホストが印字装置を使用するに必要なデバイスドライバの導入、印刷設定等の印刷環境を簡単に構築できること。

【解決手段】 導入プログラムは、導入情報記述ファイルの内容を読み込む（ステップ S 2 0 2）。導入情報記述ファイルには、印字装置のデバイスドライバの導入、デバイスドライバの設定、出力 I P アドレスの指定などが記述されている。記述に従った導入及び設定を実行する。データベースには予めホスト別の設定を格納でき、データベースを参照することによりホストに必要な設定を得ることもできる。これにより、ホスト側で印字装置を使用するための導入、設定を容易に行え、ネットワーク上における印刷環境を簡単かつ低コストに構築できる。

【選択図】 図 2

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000006747]

1. 変更年月日 2002年 5月17日  
[変更理由] 住所変更  
住 所 東京都大田区中馬込1丁目3番6号  
氏 名 株式会社リコー